

学校概要

創立 68 周年	校長 長谷川 眞介	副校長 遠藤 まり	学期 3 学期制	児童・生徒数 562 人
学級数 一般級: 15 個別支援級: 2			主な関係校: 白幡小学校・大口台小学校・港北小学校・子安小学校	

学校教育目標

- ◎[共生]人を思いやり、共に生きる喜びを学ぶことを大切にします。(徳・開・体)
- ◎[自律]行動に責任をもち、集団の中で自分を生かすことを大切にします。(公・徳)
- ◎[発見]様々な体験を通じて、自分を知り、学び、自らの生き方を見いだすことを大切にします。(知)

学校の特徴

- 創立68年を迎えた伝統ある学校で、地域や保護者は本校卒業生も多く、学校に対する思いも熱く、協力的である。
- 学習の必要性を感じている生徒が多く、恵まれた学習環境の中で落ち着いた学校生活を送っている。
- 職業体験学習は、地域の方々だけでなく、学区をこえた多くの事業所にも協力していただき30年の歴史を重ねている。
- 場面に応じて自分の態度や姿勢を改める力のある生徒が多い。
- 人の気持ちを考えての行動に不十分なところがあると感じている生徒が多い。

学校経営中期取組目標

- 全職員で、「全員を仲間と認める」「仲間と協力する」「仲間を大切にすること」を基本として、誰もが安心して生活や学習ができる学校づくりを目指します。
- ・授業では言語活動を取り入れ、思考・判断・表現力の育成を通して、確かな学力を身に付けられるようにします。
- ・人とのコミュニケーションを通して、他者を尊重する態度と、自己肯定感や自己有用感を育てます。
- ・様々な活動を通して自治能力を高め、自分を生かす力を育てます。

小中一貫教育の取組

神奈川中学校 **ブロック** : 神奈川中学校・白幡小学校・大口台小学校

9年間で育てる子ども像

- 授業に積極的に参加し、言語による適切な表現力と確かな知識及び技能を身につけようとする。
- 礼儀正しく自律的で、善悪の判断ができ、友人への思いやりを行動に表せる。
- 地域社会に暮らす者としての自覚と責任感をもち、感謝する心を表現できる。

自校の具体的取組

- 小中合同研究会では、各種のデータを検証・分析し生徒の実態を捉える。また、合同授業研究会等を通し、小中の接続をより円滑にするために共通理解を図る。
- 子どもを褒める場面と発言の場を計画的に設け、確かな人権感覚・意識の育成を図る。
- キャリア教育は「自分」と「社会」のかかわりについて考える機会とし、「あいさつ運動」などを通しコミュニケーションを大切にすることを育てる。

重点取組分野

取組目標

具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p><b>確かな学力</b></p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>基礎・基本の定着とそれらを活用する場面を大切に授業改善に努める。</p>	<p>①生徒の実態に応じて、各教科2回の教科相談の形式・内容を検討し、実施する。</p> <p>②教員の授業力向上にむけて、互いの授業を参観しやすい環境づくりを行う。また、授業者には参観メモを還元し、今後の指導に役立てられるようにする。</p>
<p><b>豊かな心</b></p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>豊かな体験活動で培った子どもの問題意識を生かして道徳の授業改善を進め、校内研修を通して、教職員の授業力の向上を目指す。</p>	<p>①道徳科の指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業場を使った職員研修を行う。・より深い生徒理解のために、評価に関する研修会を行う。</li> <li>②確かな人権感覚・意識の育成</li> <li>・行事の目的に、仲間を大切にすることの育成を明記する。・子どもを褒める場面と発言の場を計画的に設ける。</li> </ul>
<p><b>健やかな体</b></p> <p>担当 体育科</p>	<p>心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。</p>	<p>①「体づくり」の分野で効果的な指導ができるよう、研究や研修を行い、保健体育科の授業改善を図る。</p> <p>②体力テストや独自指標等の結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の改善を図る。</p> <p>③体力テストの結果等を振り返り、自己の体力に興味を持たせる。体力の向上、生活習慣の改善を図るための時間を設ける。</p>
<p><b>キャリア教育</b></p> <p>担当 キャリア教育推進委員会</p>	<p>職業体験学習を通して「仕事」や「社会について」知り、進路学習を通して自身の「将来」について深く考えるよう指導する。</p>	<p>①1年生では講師の方を学校に迎えて職業体験学習を実施する。2年生では生徒が事業所に出向いて職業体験学習を実施する。そして3年生では進路情報の積極的な発信に努める。</p> <p>②引き続き校内に「進路コーナー」を設け、生徒が必要な情報を得ることができるようにする。また、わかりやすい配置で置くように継続していく。</p>
<p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 特別支援教育委員会</p>	<p>特別な支援を必要とする生徒に対する理解を深め、指導内容の充実を目指し、学校全体で支援する体制を整備する。</p>	<p>①支援が必要な生徒の情報収集・発信・共有の方法を見直す。</p> <p>②全職員の関わりの中で、特別教育支援室を活用できるようにする。</p>
<p><b>望ましい集団活動</b></p> <p>担当 特活指導部</p>	<p>望ましい人間関係の育成や、よりよい社会を目指して、主体的に活動できる生徒を育てる。</p>	<p>①「生活向上プロジェクト」を実施して、学校生活の向上と主体的に活動できる生徒の育成を目指す。</p> <p>②コミュニケーションの基本であるあいさつができるように、総務委員による定期的な「あいさつ・清掃運動」を実施する。</p>
<p><b>安全管理</b></p> <p>担当 保健安全指導部</p>	<p>学校防災計画に基づき、日々の安全管理に努め、安全に配慮した活動ができる生徒を育成する。</p>	<p>①学校防災計画を職員全体で把握し、災害時の避難方法や点呼の方法を共有、点検、修正する。またそのための夏季職員研修を行う。</p> <p>②様々な場面を想定した訓練を行う中で、生徒自らが安全について考える姿勢を育てる。また学校保健委員会では外部機関と連携をとりながら、防災について学習を深める。</p>
<p><b>人材育成・組織運営</b></p> <p>担当 メンター担当</p>	<p>メンターチームを充実させ、個人力の向上から組織力の向上を図る。生きた研修を通し、学習指導・学級指導・生活指導の実践力を高める。</p>	<p>①メンターチームの研修を定着させ、中堅職員をリーダーとしながら7回の自主研修を行い、経験の浅い職員とミドルリーダーの育成を図る。</p> <p>②校内組織を改善し、研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上を目指す。</p>
<p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	<p>生徒一人ひとりが受け入れられていると実感できる受容的な環境をつくる。また、全ての生徒の「授業を受ける権利」を保障するための支援を確実に実施する。</p>	<p>①PTA・地域・職員・生徒会が一体となった月1回のあいさつ運動を実施し、誰もが安心して受容的な環境をつくる。</p> <p>②年3回のいじめ等のアンケートを実施し、教育相談に活用し実態把握に努める。必要に応じ、校長をリーダーとし、担任や各学年教諭、生徒指導専任教諭から成るチームによる支援を進める。</p>